

# 虹

ねやがわし  
社会福祉協議会だより

No.175

令和8年5月1日発行



ねやがわし社会福祉協議会だより  
虹 175号 令和8年5月1日発行

発行所/社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会  
編集者/社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会  
広報編集委員会

〒572-8566 寝屋川市池田西町2-4-5市立池の里市民交流センター内  
電話 072-838-0400 ◆ FAX 072-838-0166  
業務日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時30分

## 力を貸してください! 移動を支えるボランティア 運転協力者認定講習会

～あなたの時間を「運転ボランティア活動」で有意義な時間にかえてみませんか～

外出が困難な高齢者や障害者をリフト付き福祉車両で、通院や行事参加など目的地までの送迎をする、運転ボランティア活動(無償活動)への参加に必要な国土交通省認定の講習会です。



福祉車両路上演習

### 運転協力者認定講習会

**日時** 6月4日(木)午前10時～午後5時30分  
6月11日(木)午前10時～午後1時

**場所** 市立保健福祉センター4階  
健康指導室ほか

**内容** 関係法令の講義や福祉車両の特性についての演習など

**対象** ・市内在住、在勤の人  
・普通免許をお持ちで、日常、車を運転されている75歳までの人(ペーパードライバーの人、運転に自信のない人はご遠慮ください)  
・月1回以上活動(無償活動)できる人

**定員** 20人(定員になり次第締め切り)

**参加費** 無料(福祉関係事業所に登録、勤務している人、上記の対象にあてはまらない人は11,500円)



社会福祉協議会では移動支援として「移送サービス事業」「外出援助サービス事業」を行っていますが、運転ボランティアが足りません。認定講習会を通じて、移動支援ボランティア活動にご協力をお願いします。

問 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

「善意銀行」とは、「物品などを提供したい、困っている人につないでほしい」という「善意の気持ちを橋渡し」する取り組みです。

ご寄付をいただき  
ありがとうございました

### 編集後記 れんこん畑

福祉に関わらせてもらっていると、よく「ふだんのくらしのしあわせ」という言葉を目にし、耳にします。頭文字を取って「ふんこ」。

この言葉が福祉活動の原点だとおっしゃる人も、何人かおられます。

では、「ふだんのくらし」とはどんな暮らしなのでしょう。疑問に感じられたことはありませんか。

少し硬く言うと、憲法で保障された「健康で文化的な最低限度の生活」となるでしょうか。もちろん、一人ひとり生活スタイルの違いがあります。一概には言えませんが、その日の終わりに「ああ、今日も良かった」と振り返ることができるような生活、というのが「ふだんのくらし」かなと思います。

でも待つて下さい。この人にとっても、忘れてはならない前提条件があるのではないのでしょうか。何かと言えば、平和で過ごせることです。ある人にとって良くないことが起きた日は、「ふだんのくらし」とは言えません。

ましてや、戦争の状態になっている地域で、「ふだんのくらし」などと言ってもならぬ話です。

平和であること、平和を守っていくこと。どの人にとっても、誰でも、最も大切な事だろうと考えます。

「ふだんのくらしのしあわせ」を現実のものとしていくために。

(一・H生)



UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

寝屋川市社協 🔍 検索

「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

# 令和8年度 事業計画・予算

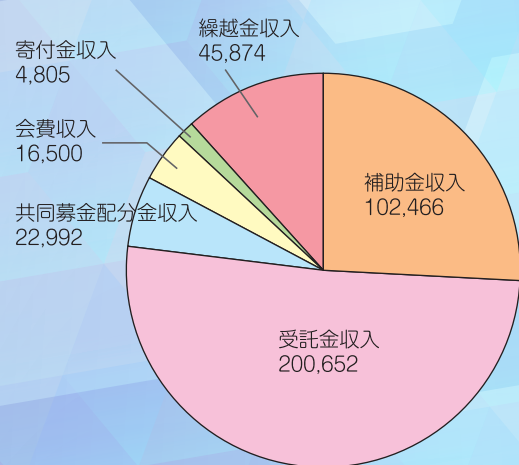
制度やサービスといった社会の仕組みと、  
地域の支え合いとが合わさっていくことで、地域共生社会が示す  
「共に生きる」地域づくりを進めていきます。

令和8年度事業計画と社会福祉事業予算が評議員会で承認されました。

重点的に取り組む内容は以下のとおりです。市や関係機関、校区福祉委員会やボランティアグループ、社会福祉法人や事業者と手を取り合って、権利擁護の取り組みをはじめ、各事業に取り組んでいきます。

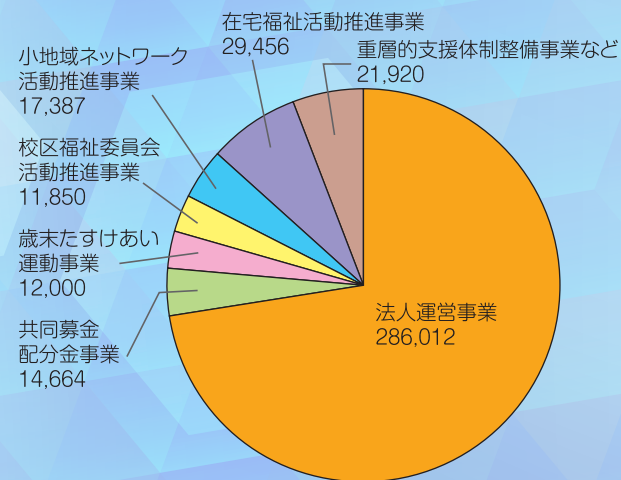
- ボランティアへ参加するきっかけづくりや参加しやすい仕組みづくりに取り組みます。
- 孤立死を防ぐために、地域住民の参加と協力による見守り力を高める取り組みを進めます。
- 孤立している人が、人とゆるやかにつながりながら過ごせる居場所づくりを進めます。

## 令和8年度 収入



収入合計393,289千円

## 令和8年度 支出 (単位:千円)



支出合計393,289千円

事業計画・予算の詳細はホームページをご参照ください

図 総務課・地域福祉課 ☎072-838-0400

生活支援課 ☎072-812-2040



**車いすの寄贈**  
大阪府理容生活衛生同業組合寝屋川支部様より車いすを寄贈いただきました。頂いた食品はサービスなどに活用いたします。



**寄贈の紹介**  
**食品の寄贈**  
千成ヤクルト販売株式会社様より、食品を寄贈いただきました。頂いた食品は生活困窮者への支援で活用いたします。

## 善意銀行だより あたたかいご寄付をありがとうございました

(令和8年1月1日～3月31日) 敬称略

### 現金の部

預託者氏名
宮原 俊治
ローズハイツ香里園自治会
厚友会
匿名 2件

一般寄付金への寄付金合計は6,896円でした。  
社会福祉基金への寄付金合計は380,920円でした。  
善意銀行への指定寄付金合計は329,635円でした。

市民のみなさまから寄せられた善意のお金や物品をお預かりし、必要としている個人や福祉関係機関・団体などに払い出す取り組みです。

「寄付金を活用してほしい」「物品を寄付したい」などございましたら右記までご連絡ください。

### 物品の部

預託者氏名	品名
寝屋川市フードドライブ(環境総務課)	缶詰、レトルト食品、飲料、加工食品
すばる・北斗福祉作業所	精米
有限会社にし尾	精米
こまどりこども園	レトルト食品、加工食品
ロイヤルライフ・天寿苑	缶詰、加工食品
明德保育園	缶詰、瓶詰、レトルト食品、加工食品
ロイヤルライフ・カミダ	長期保存米、長期保存パン
匿名 4件	食品、日用品

<お願い>お預かりできる物品は、新品(相当)のものに限ります。ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

図 生活支援課 ☎072-812-2040

## 就労準備支援事業 事業紹介

就労準備支援事業では、利用者ひとりひとりの状況に合わせたプログラムに取り組んでいます。

誰かの役に立ちたいという思いがある人や就労意欲はあるが働くイメージがわからない人には、それぞれボランティア体験や就労体験の場の紹介も行います。

「働くことや将来の事が何となく不安だ」という人でも支援員が丁寧にお話を伺います。お気軽にお問い合わせください。

### 利用者の声を聴いてみました

- ・新しく習慣やリズムを作るのに良好と感じた。
- ・人の話が聞けるようになりました。
- ・少しずつ頑張ろうと思える場所でありたいです。



生活支援課 ☎072-812-2040

# 東校区 福祉委員会 活動紹介 Vol.44

東校区は、寝屋川市内でも歴史の古い、伝統ある校区です。児童数は市内で2番目に多く、高齢者数は市内で6番目に多いという特徴を持っています。その中で、子どもから高齢者までがお互いに「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえりなさい」と声を掛け合っており、活気にあふれています。

そんな東校区福祉委員会は、「誰ひとりとり残さない 東校区福祉委員会に」を目標に今日も活動を行っています。

## 子育てサロン「ほがらか東」

東コミュニティセンター 和室

就学前の親子を対象に、毎月第1火曜日(10:00～11:30)に開催しています。ボランティアが季節感あふれる催しを企画し、親子と一緒に楽しんでいます。

東校区に限らず、たくさんの親子をお待ちしています

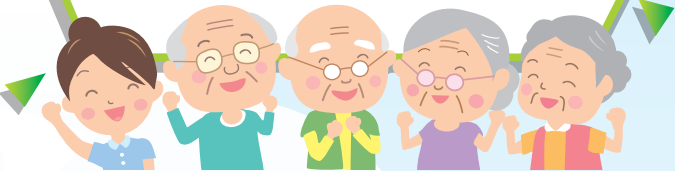


3月はひなまつりに、折り紙でひな人形づくり

## いきいきサロン「にこにこ東」

東コミュニティセンター 2F 多目的室

東校区在住の高齢者を対象に、毎月第2火曜日(10:00～11:30)に開催しています。レクリエーションには近隣施設の職員に来ていただき、楽しい時間を過ごしています。



レクリエーションの様子



## 1年の取り組み報告

地域で発生する孤立死に対して小さな気づきをつなぐ「見守りハンドブック」の作成に取り組みました。

作成にあたって、自治会長や民生委員・児童委員ひとりひとりから声を集め、見守りのあり方について再度検討を行いました。そして12自治会ごとの特性に合わせて、見守りサポートの方法を考えながら発行しています。

今後もこの取り組みを通して、いつでも、どこでも、誰でも、声かけや気づきをつなげる「まちづくりの気風」を育むことを大切にしたいと考えています。



令和7年度小地域ネットワークリーダー研修会で「見守りハンドブック」について発表しました

図 地域福祉課 ☎072-838-0400

# 65歳からの地域デビューのあゆみ NO.4

こんにちは。地域支え合い推進員です。地域支え合い推進員は高齢者のみなさんの「あったらいいなあ」「やってみたいなあ」などの思いを一緒に考え、応援する職員です。

みなさんを応援するために、地域のさまざまな交流の場やちょっと役立つ情報を集めています。今回は東北圏で開催している通いの場「みんなでいきいき!介護予防教室」「ゆっくり介護予防教室」の様子をお伝えします。

## 第1部 「みんなでいきいき!介護予防教室」

みんなでやるから楽しい!

日時 毎月第2木曜日 13時半～14時半  
(日程変更になる可能性があります)

場所 寝屋川団地集会所1階(明德2丁目10-18)

対象 寝屋川団地住民および近隣住民、短期集中サービス\*卒業生

ハーモニー・ワンセルフの理学療法士による体操、レクリエーション、合唱など地域の方や地域包括支援センターと一緒に開催しています。



認知症予防に編み物を始めませんか?

## 第2部 「ゆっくり介護予防教室」

手を動かして脳と心を元気に!

認知症予防の取り組みで、認知症サポーターに協力いただき、みんなで手芸(編み物など)の製作をしています。

第1部の後、そのまま同じ場所で続けて約1時間行っています!

手芸作品は子ども食堂にプレゼントしました。



毎回楽しみにしています。みんなと一緒に色々なレクリエーションをするのが心と体の健康に繋がっています。 K-Aさん

久しぶりに手芸をして、若い頃を思い出しました。楽しい時間を皆さんと過ごすことができました。 K-Kさん

\*3か月間、身体の動かし方を専門職が確認し、散歩や軽い運動などこれまでできていた日常生活を取り戻すことを目指す介護保険サービスです。

興味があれば、「地域支え合い推進員」にご相談ください。みなさんも一緒に地域デビューしましょう! 次回8月号では寝屋川市全域の活動を紹介予定です。

地域支え合い推進員

図 地域福祉課 ☎072-838-0400

# ボランティア講座実施報告

誰もが一緒に楽しめる!多様性のある魅力的なスポーツを体験

1月24日(土)、ユニバーサルスポーツ体験を通して、多世代での交流が一層進むことを目的にボランティア講座を開催し、最近全国的に広がりを見せている「ボッチャ」と「モルック」を行いました。

ボッチャやモルックは、年齢や性別、障害や疾病の状態の違いに関わらず体験することができます。今回の講座には、子どもから高齢者まで38名が参加し、世代を越えたチームを組んでの体験となりました。チームメンバーのナイスプレーに、大きな歓声やガッツポーズが見られ、会場には大きな一体感が生まれていました。

参加者からは、「みんなで盛り上がり楽しかった」や「わたしが住む地域でもしてみたい」との声が寄せられました。誰もが参加できるスポーツを通して、地域のつながりが広がっていくことを期待しています。



図 地域福祉課 ☎072-838-0400

## 令和8年度 共同募金助成申請受付がはじまります

10月より実施する第80回共同募金運動に先立ち、助成申請を受け付けます。助成を希望されるみなさまには、共同募金運動の趣旨をご理解いただき、市民のみなさんから共感を得るために有効な事業計画を立案し、申請くださいますようお願いいたします。

赤い羽根と希望くん



共同募金

### 申請期間

令和8年5月1日(金)～ 5月20日(水)

### 助成対象

大阪府内で行う民間社会福祉事業、更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体が令和8年度(令和8年4月～翌年3月末)に実施する事業。

### 申請様式

社会福祉法人大阪府共同募金会ホームページ「赤い羽根おおさか」よりダウンロードできます。

☎ 総務課 ☎ 072-838-0400

## 「障害のある人が必要とする災害用資機材、備品の整備」への募金をありがとうございました

みなさまのお力添えにより令和7年度共同募金テーマ型募金は無事に終了いたしました。集まった募金は、障害のある人が必要とする災害用資機材・備品の整備に活用します。あたたかいご支援、ご協力、本当にありがとうございました。

### 募金実績

**169,472円**

※令和8年3月31日 現在

☎ 総務課 ☎ 072-838-0400

### 献血だより

## 400mℓ献血にご協力ください

～献血は命をつなぐことのできるボランティアです～



あなたの善意の献血で多くの命を救うことができます。全国的に血液が不足している状況の中、一人でも多くの方に献血のご協力をお願いします。献血当日は地域の校区福祉委員会および関係機関・団体がお手伝いしています。都合により、日時・場所が変更される場合があります。



日程	受付時間	実施場所
5月14日(木)	10時～16時30分(休:12時～13時)	京阪寝屋川市駅東口前
5月28日(木)	10時～16時30分(休:12時～13時)	アル・プラザ香里園
6月10日(水)	10時～16時30分(休:12時～13時)	京阪寝屋川市駅東口前
6月27日(土)	10時～16時30分(休:12時～13時)	ビバモール寝屋川

☎ 大阪府赤十字血液センター北大阪事業所 ☎ 072-632-4747

## 災害ボランティアセンター設置訓練 実施しました!



災害ボランティアセンターとは、災害時に被災者支援のボランティア活動を円滑に行うための拠点です。被災者の「ふだんの暮らし」を一日でも早く取り戻せるよう応援します。

1月に本会の全職員が参加し、災害ボランティアセンターの機能・運営手順の体験、役割分担や連携体制の重要性を理解することを目的として、訓練を実施しました。今回の訓練では、多くの改善点を見つけることができました。これらの改善点を次回の訓練や、運営のマニュアルの見直しに生かしていきたいと思っております。

☎ 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

## 地域を支える 災害ボランティア事前登録で「助け合い」の輪を広げよう

## 災害ボランティアの事前登録にご協力ください

大規模災害発生時、被災地の早期復旧にはボランティアによる支援が欠かせません。事前登録をいただくことで、被災者支援がスムーズに調整ができ、迅速な支援にとつながります。主な活動内容は災害ボランティアセンターの運営補助をはじめ実際の被災地域での活動です(例:家財道具の片付け、泥かき、話し相手・子供の遊び相手など)。  
また、事前登録者には災害やボランティア研修の情報提供を行うほか、発災時には活動協力の依頼をします。地域の防災力を高めるため、事前の備えにご協力をお願いします。



個人登録フォーム



団体登録フォーム

対象 市内在住・在勤・在学の個人またはグループ 登録申込 QRコードもしくは窓口にて随時受付中

☎ 地域福祉課 ☎ 072-838-0400